

日時 : 令和5年10月26日(木曜日) 17:00から18:00まで
場所 : 西大阪治水事務所1階 AB会議室
出席者 : 委員) 橋爪会長・阪本委員・山上委員・武田委員・久末委員 計5名
まとめ :

【議題】都市・地域再生等利用区域の新たな指定について(安治川左岸(船津橋下流))

- 審議の結果、当該地区の都市・地域再生等利用区域の指定は妥当。
ただし、河川区域内での宿泊については、事業者から、洪水や高潮等の災害に対する安全対策の具体案が示された段階で、再度審議を行うこととする。

概要 : [以下、○委員 ●事務局]

議題 都市・地域再生等利用区域の新たな指定について(安治川左岸(船津橋下流))

- 安全対策については、防災マニュアルの整備と併せて、定期的に避難訓練を実施することが大切。今後の外国人観光客の増加も見据え、多言語化も検討していただきたい。
- 防災マニュアルの整備や定期的な避難訓練については、今後、事業者と調整しながら具体化していきたい。また、多言語化については、現地での案内表示やホームページの多言語化だけでなく、外国語が話せるスタッフの常駐等も検討している。
- グランピング等が予定されている多目的広場は、堤外地に整備されるので、避難の動線計画が重要。例えば、車椅子の方が防潮堤を乗り越えられるようにスロープの整備等は考えているのか。
- 堤外地から堤内地への避難動線として、バリアフリー対応のスロープの設置を考えている。
- 避難場所まで比較的長い距離を誘導する必要があるように思う。地域のことをよく知らない方でも避難できるように検討していただきたい。
- 避難計画の検討にあたっては、避難先の収容人数の確認や受け入れ先との調整もお願いしたい。
- 当該地区は南海トラフ地震による津波が想定されるエリアなので、南海トラフ地震の臨時情報に関する安全対策も検討していただきたい。
- 今後、防災マニュアルを具体化していく際には、本日頂いた意見を参考に検討していきたい。
- 周辺エリアに対する本事業の波及効果も期待したい。施設の管理者は異なるが、周辺のノースピアや津波・高潮ステーション、トコドコダンなどと連携して、エリア全体で魅力を創出できるように、取り組んでいただきたい。
- 周辺エリアへの波及効果については、地域の教会や喫茶店などとコラボしたイベントを事業者から提案いただいているので、実現できるように府もバックアップしたい。津波・高潮ステーションやトコドコダンについては提案にはなかったが、これから事業者とともに検討していきたい。
- 水辺の景観については、今回の整備によって、夜間景観も含め、視点場と視対象の両面から捉えることが重要である。今回整備する施設が周りからどのように見えるかだけでなく、施設から新しい水都大阪の景色がどう見えるかなど、新しい水都大阪のイメージを発信できるポテンシャルが高いので、ぜひ積極的な景観形成に努めていただきたい。
- デザインについては、イメージパースのようなリゾートだけでなく、当該エリアの歴史的背景も踏まえ、モダンなデザインも意識して検討いただきたい。
- 景観やデザインについては、現在、施設のレイアウトや構造などを検討しているので、本日頂いた意見も参考にしながら事業者と検討していきたい。
- 宿泊施設については、尻無川河川広場において検討した事例がある。安全対策を検討する際には参考にさせていただきたい。
- 尻無川河川広場の事例は河川管理者からも聞いているので、参考にしながら事業者と検討していきたい。
- 整備スケジュールが非常にタイトであるが、できるだけ事務手続きは短縮して、万博までに供用できるように関係機関で協力しながら進めていただきたい。
- 河川占用や建築確認申請等に係る関係機関との協議は、府民文化部もバックアップして円滑にスムーズに

いくように努めていく。

- 隣接する国有地の活用については万博までには間に合わないと思うが、暫定的な整備ができないか等、国にも積極的に関与してエリア全体での魅力創出に努めてほしい。
- 国有地については、万博までに定期借地契約は間に合わないが、万博時の暫定整備に向けて、国とも協議をしている。
- 今回のコンセプトは素晴らしいと思うが、提案の中には実現まで時間を要するものもある。モニタリングをしながら事業を進めてほしい。
- モニタリングが重要なことは認識。事業者とは30年間の契約なので、施設の完成で終わりではなく、適宜、事業内容を振り返りながら取り組んでいきたい。
- 歴史的価値について、大阪港開港の地や川口居留地に関する説明があったが、明治以降は、港や居留地としての賑わいは衰退し、その後は、安治川筋は工業地帯として東洋のマンチェスターと呼ばれるまで発展した物語がある。歴史的価値の活用については、海外との連携の拠点であった富島や安治川筋全般の物語も展開して、地域の歴史をうまく活かせるように、専門家に監修いただくのが望ましい。
- イメージパースではリゾートの雰囲気があるが、本日の審議会の意見も踏まえて、この地区の歴史に配慮したデザインとすることを要望したい。

- 多くの委員から意見をいただいた安全対策について、堤外地のグラウンドレベルが概ねO、P+3.0mであり、下流側の三大水門の閉鎖時は、50cm浸水する可能性があるため、施設計画の具体的な協議があった際には、河川管理者としても、安全対策に関する助言や指導をしていきたい。
- また、宿泊施設については、過去に本審議会で、必要な安全対策について個別に検討している。今後、事業者から安全対策の具体案が示された段階で、別途審議をお願いしたい。
- 審議の結果、安治川左岸（船津橋下流）における都市・地域再生等利用区域の指定は妥当である。ただし、河川区域の宿泊については、事業者から、洪水や高潮等の災害に対する安全対策の具体案が示された段階で再度審議を行うこととする。